

都市再生整備計画 事後評価シート
盛岡南地区

平成30年3月

岩手県盛岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県	市町村名	盛岡市	地区名	盛岡南地区			面積	572.8ha
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1,576百万円	国費率	40.0%		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名							
	基幹事業		道路(市道河南・野崎線)、公園(盛岡南地区公園、下太田谷地近隣公園、畑中近隣公園、3号街区公園)、地域生活基盤施設(3号緑地、地区内案内板)、高質空間形成施設(道路植栽)							
	提案事業		地域創造支援事業(盛岡南新都市埋蔵文化財発掘調査、盛岡南新都市埋蔵文化財活用事業、道明地区埋蔵文化財発掘調査、希少野生動物保全対策事業)							
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	公園(下太田谷地近隣公園)	公園整備の見送り		公園予定地を東日本大震災の仮設住宅用地として使用することとなったため整備を見送ったが、復興推進の複合的拠点施設として活用されるとともに、花の植え込みなどによる被災者と地域住民の交流が行われ、復興支援と地域緑化に対する市民の意識啓発が図られており、目標及び指標への影響は少ない。			
	新たに追加した事業		提案事業	地域創造支援事業(盛岡南地区公園外1公園サイン整備事業)	公園の利便性の向上のため公園案内板整備事業の追加		案内板整備によりさらなる公園施設利用が見込まれ、ゆとりとうるおいをもたらす公園につながり、緑化推進活動への住民参加者数増が見込まれる。			
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-				
		変更	-							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	地区内の居住人口	人	19,082	H22	20,300	H28		23,368	○	あり なし	土地区画整理事業等の進展に伴い地区内の道路交通網及び道路環境の充実、良好な住宅地の整備等が進められ住宅・商業・産業が複合的に成長し、地区内の居住人口の増加につながった。	平成30年5月
指標2	緑化推進活動への住民参加者数	人/年	674	H23	674	H28		786	○	あり なし	公園等を整備し、公園等で遊ぶ地区内住民が増えたことにより、花等を身近に感じた住民が増加したため、公園等への花植えイベントの参加者の増加につながった。	平成30年9月
指標3	埋蔵文化財の周知イベントへの参加者数	人/年	6,024	H22	6,024	H28		10,939	○	あり なし	地区内の遺跡の発掘調査成果の公開、成果を活用したイベント等を実施したことにより、地域住民の埋蔵文化財に対する理解と意識が向上し、イベントへの参加者の増加につながった。	平成30年7月

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

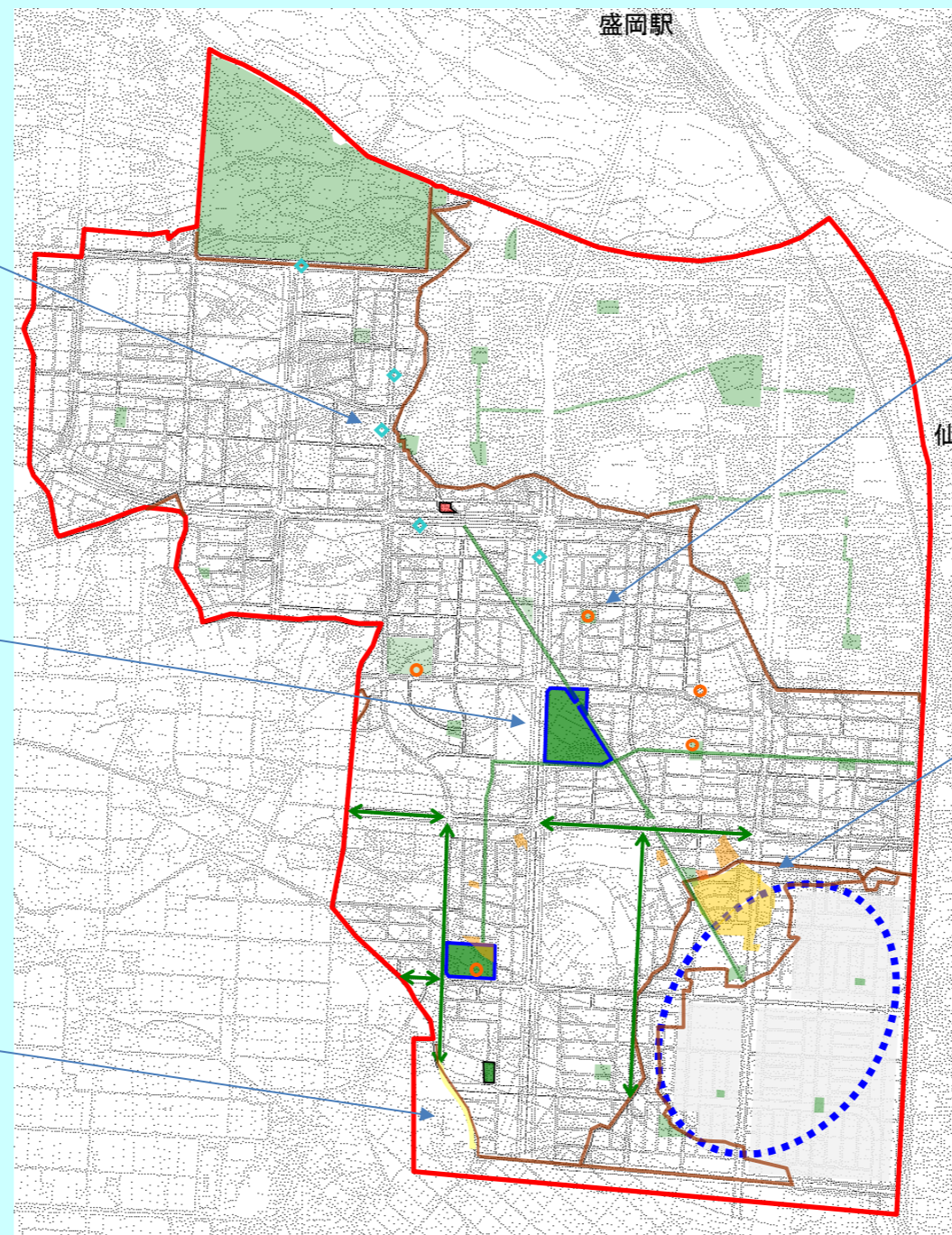
4)定性的な効果発現状況
 ・盛岡ゆいとぴあネットワーク(盛岡市本宮・太田地区に所在する、岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・志波城古代公園・盛岡市遺跡の学び館の6施設で構成)と連携してスタンプラリーや共同イベント等を実施し、利用者に興味関心を持ってもらう機会を提供することにより、施設の利用促進が図られた。
 ・緑化推進活動へ地区住民が参加することや新設された公園を利用することにより新都市のコミュニティの形成が図られた。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた		-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	公園及び緑地の整備にあたっては地元住民の意見を十分に反映させた施設計画策定、施設整備の取り組みを進めた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も利用者第一の公園づくりを行うため、ワークショップ等様々な手法を用いて、住民意見を取り入れる。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	近隣公園及び街区公園の維持管理について、地元町内会に依頼した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	引き続き地元町内会と協力し適正な維持管理に努める。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

盛岡南地区(岩手県盛岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年度	数値	年度	数値	年度
盛岡の新都心にふさわしいゆとりとうおいのある魅力的なまちづくり ○ 新たな活力を生み出す新都心の形成と、職住近接の住む人に優しいまちの形成 ○ 市民参加意識を醸成し、官民協働による緑化の推進 ○ 人と歴史文化が触れ合えるまちの実現	地区内の居住人口	単位:人	19,082	H22	20,300	H28	23,368	H29
	緑化推進活動への住民参加者数	単位:人/年	674	H23	674	H28	786	H30
	埋蔵文化財の周知イベントへの参加者数	単位:人/年	6,024	H22	6,024	H28	10,939	H29



凡例	
都市再生整備計画区域	[Red outline]
市道河南・野崎線整備事業	[Yellow line]
盛岡南地区公園外3公園整備事業	[Green area]
地区内案内板整備事業	[Blue diamond]
道路植栽事業	[Green arrow]
3号緑地整備事業	[Red area]
盛岡南新都市埋蔵文化財発掘調査	[Orange area]
道明地区埋蔵文化財発掘調査	[Yellow area]
盛岡南新都市埋蔵文化財活用事業	[Orange circle]
希少野生動物植物保全対策事業	[Blue dotted area]
土地区画整理事業区域	[Brown area]
盛岡南地区公園外1公園サイン整備事業	[Blue outline]

まちの課題の変化	<p>課題1: 地区内の道路交通網及び道路環境の充実と土地活用の推進による職住近接のまちの実現 ⇒ 土地区画整理事業等の進展に伴い良好な道路環境が整備されるとともに、住宅・商業・産業が複合的に成長するまちが概ね実現された。一方で未利用地の利用促進及び活用が進んでいない用地もある。</p> <p>課題2: 官民協働による整備の取り組みの促進による公園の早期開設 ⇒ 官民協働により地元住民の意見を十分に反映させた施設計画の策定及び施設整備を促進できた。一方で地区内の流入人口が増加したことから、公園を含む公共施設に対する質の高い維持管理への要望がある。</p> <p>課題3: 地区の歴史と埋蔵文化財の周知と触れ合いの機会の提供 ⇒ 発掘調査成果を公開する現地説明会や調査成果を活用したイベント等を実施し、周知を図った。今後も埋蔵文化財の情報提示・公開促進が必要である。</p>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 良好な道路環境を維持するため、破損が小規模うちに補修を行い効果的な維持管理に努めるなど、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進める。 住宅・商業・産業が複合的に成長するまちを維持するとともに未利用地の利用促進、活用及び民間活力によるまちづくりの推進を図るため、社会資本の整備を推進するとともに企業誘致も並行して進める。 地元町内会や公園管理者が草刈りや剪定の頻度を増やすとともに、企業等に協力を呼びかけ、公園の効果的な維持管理に努める。 復興推進の複合拠点施設として活用されている下太田谷地近隣公園の今後のあり方を検討するとともに、中央公園に災害時の備蓄ができるような施設の設置を進める。 埋蔵文化財に対する理解の促進を図るため、埋蔵文化財を活用したイベント等を引き続き実施し、更に発展させるとともに、埋蔵文化財の所在地や内容に関する情報を案内板やリーフレット等を活用して、地域住民に提供する。